

第3回 大野市地域安全克雪方針策定協議会 議事概要

日時：令和5年3月22日（水）午後1時30分～2時30分

場所：結とびあ3階302会議室

1 あいさつ

竹田会長あいさつ

2 議事

(1) 令和4年度取り組み状況について

令和4年度取り組み状況について事務局より説明

【委員からの意見】

- ・視察について、命綱固定アンカーは、ロープそれともワイヤーになるのか。また、それは1年中設置しているのか。
⇒ワイヤーである。基本的には夏場は取り外している。

- ・命綱固定アンカーで足元を滑らせたなら、中吊りになるのではないかと感じた。地面に雪が落ちている場合には、落下した方が安全なのではないか。
⇒命綱固定アンカーは屋根先など危ない箇所に行かないためのものとなっている。中吊りの事故があった事案では、ロープの種類や長さが適切でなかった問題がある。
最近では除雪の能力が進んでいることから、アスファルトが見えるまで除雪されている場合も多く、道路に面しているお宅であると、アスファルトに落下する方が危険であるという話もある。

- ・命綱固定アンカーの位置が高いと景観上の課題があるが、低いと雪で埋まってしまうため掘り起こさなければならないのか。また、命綱固定アンカーはどのくらい普及されているか。
⇒命綱固定アンカーの位置が低くても目視をすることができ、屋根のトップの部分は他の部分と比べると積雪量が少なる傾向にあるため、比較的に見つけやすい。新潟県が実施したアンケート調査（平成30年度）では、屋根雪下ろしに命綱を使っているのは3.6%である。

(2) 大野市地域安全克雪方針（骨子案）について

大野市地域安全克雪方針（骨子案）について事務局より説明

【委員からの意見】

- ・大野市除排雪資機材購入試行事業補助金について、屋根雪下ろし用資機材、手押し式小型除雪機とはどのようなものか。
⇒屋根雪下ろし除排雪資機材は、スノッパやスコップ、ヘルメットなどを想定している。手押し式小型除雪機は、乗用するタイプではなく、ガソリンで駆動する手押し式の除雪機である。

- ・現在の命綱固定アンカーは、明確な基準がなく、オーダーメイドの設計となる。市としてまだ方針は出ていないと思うが、今後の進め方について何か考えがあれば聞きたい。
⇒新潟県では県が主導してマニュアルを作成しており、命綱固定アンカーの高さが低く、コストが掛からないものを改良されている。大野市では命綱固定アンカーについて、市民に提供できるかどうかは現段階では難しいと考えている。構造や大野市の景観にあったものを確立することが難しく、民間への汎用性や流通性も踏まえ、一般家庭に普及させるのは時間が掛かると考えられるため、大野市地域安全克雪方針に取組として位置づけるのは困難であると考えている。今後の検討課題として方針には盛り込みたい。

(3) その他

特になし。